

みどりの風

Noseiren Dayori Midori no Kaze

発行／熊本県農業者政治連盟

JA熊本県会館内 熊本市南千反畑町2-3

電話 096-328-1284

編集責任者 木村 幸孝

発行／毎月1回 15日発行

平成9年7月4日第三種郵便物許可



日本一の石段（美里町：写真提供 熊本県）

昭和63年3月に、釈迦院の表参道である御坂に日本一の石段が完成。各地の名石や各国の御影石を使用し、国内・外の親善にも一翼を担った。

主な内容

- ・熊本農業を考える県民集会
- ・JA鹿本青年部活動
- ・ガンバッテいます：松本憲二さん 豊岡薫さん
- ・各連合会からのお知らせ



朝から、久しぶりに熊本市内のデパートに買い物に行った。休日のデパートは、六〇七割が高齢者のお客で占められていた。

御夫婦で、又は数人のグループでの買い物に來ている高齢者が、元気に店内を回ったり、或いはお互いに支えあいながら買い物をしたりと様々である。

こうした高齢者の視線でデパート中を見回すとあまりにも高齢者への配慮のなさに気がかされる。ちょっと休憩をする椅子は、エスカレーターの際に、申し訳程度に並べてあるだけだ。更に床の段差がいたるところにあり、歩行にも支障をきたしている。

この社会は、高齢者・身障者等を普通に受け入れることができない構造となっている。

今、「後期高齢者医療制度」に対し、高齢者の中から大変な不満や怒りの声があがっている。当初政府は、「一般的に低所得者で負担が減り、高所得者は負担が増える。」と説明していたが、厚生労働省の調査によると、低所得者では三九%の負担増と、高所得者の二二%を上回っている。更に大都市部では低所得者の負担が七八%増えるなど逆転現象が著しいことが分かった。

野党四党は、後期高齢者医療制度の廃止法案を参院で可決し、衆院に送付した。

与党は、同制度の作業チームで低所得者の保険料負担の見直しなどの修正案をまとめた。高齢者の大変な反発の中で、同制度が揺れている。

超高齢化社会を迎える今日、高齢者医療費の増大は、国の深刻な財政負担だ。

しかしながら、「後期高齢者」という世代は、敗戦後の日本をその中心で支え、高度経済成長を実現した大変な功労者である。我国は、彼らこそ大事にする社会でなければならない。

熊本農業を考える県民集会の開催



主催者挨拶 JA熊本市中央会園田俊宏会長

J A熊本中央会と県内JAグループ、県農業者政治連盟は、五月十一日、消費者代表も含め、一〇〇〇人の「熊本の農業を考える県民集会」をグランメッセ熊本で開いた。

食料自給率の低下やWTOの農業交渉のゆくえに対する危機感、原油・飼料の高騰による生産コスト高など農業環境の厳しさを、広く消費者に理解してもらおうことと、その対策について、県選出の自民党国會議員に訴えた。

園田俊宏JA熊本中央会会長は、「農家の経営努力には、限界がある」と農業環境の窮状について述べた。また、消費者団体を代表して熊本県生協連の杉本健二会長が連帯挨拶をした。

代表要請

J A熊本経済連松村秀一会長が
①食料自給率の向上対策②原油価格・飼料高騰対策③農畜産物価格



代表要請 JA熊本経済連松村秀一会長

転嫁の理解促進——
などを国會議員へ要請した。



林田 彪氏



金子 恭之氏

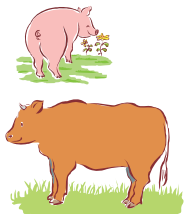


園田 博之氏



野田 毅氏

国會議員の決意表明



松村 祥史氏



木村 仁氏



木原 稔氏

参議院議員の 山田俊夫氏の情勢報告



山田俊夫氏

3人の意見表明

・JA阿蘇の丸山組合長が、消費者・生産者ともに手を携え、安全・安心な食料の供給を、と訴えられた。



丸山 信義組合長

・菊池市畜産農家の安武孝之さんは、飼料の高騰により将来が不安。生産費上昇が価格に反映するような仕組みをと述べられた。



安武 孝之氏

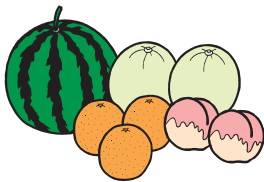
・熊本市の園芸農家河野大介さんは、農家の個々の努力には、限界がある。地元の農産物を消費者が買い支えていただかなければ、やっていけないと訴えられた。



河野 大介氏

アピール採択

最後に安全・安心な国内農業の持続を基本に「消費者・生産者が共存できる社会の実現」を求める大会アピールを採択した。



大会宣言 JA熊本信連・共済連大久保和也会長



会場風景



ガンバロー三唱

街頭宣伝

集会後は、下通りアーケード、熊本駅など市内六ヶ所でチラシを配り、「食の安全・安心」を消費者に訴えた。



街頭宣伝活動



J A鹿本 青年部活動

J A鹿本青年部は、五地区支部・総盟友二七九人で組織し、盟友が一丸となり積極的な活動を行い、組織の団結・友愛・絆を深め鹿本地域農業をリードしていこうと相互・自己研鑽により資質向上を目指します。平成十九年度実施した活動を一部紹介します。今年度は、さらに充実した内容で地域貢献に努めます。J A鹿本青年部をどうぞよろしくお願いたします。

次世代の地域農業の振興を考えて

J A鹿本青年部常勤役員と語る会

J A鹿本青年部は八月二十七日「地域農業の振興と若い担い手が安心して営農できる環境づくりをしてほしい」と、J A本所で青年部員、関係者ら約一二〇人が参加して二〇〇七年度J A鹿本青年部常勤役員と語る会を行った。

当面する燃料問題、廃止支所店舗の利活用、担い手育成、指導販売の強化などさまざまな意見が交わされた。特に、昨今の農作物の価格低迷を受けて「若い後継者が安心して農業を続けられるよう支援してほしい」と訴えた。



J A鹿本青年部 親善スポーツ大会



J A鹿本青年部は九月五日、山鹿市カルチャースポーツセンターで二〇〇七年度青年部親善スポーツ大会を開き、四十二チーム・約二八三人が参加し、ビーチバレーで熱戦を繰り広げた。これは、全青年部員参加のもとで、相互の親睦と融和を深めるとともに、J A青年部としての自覚、連帯意識の高揚、および組織の活性化を図ろうと毎年行っている。

農作業の手を休めてのスポーツ大会ということで、和気あいあいとゲームを楽しんでいたが、試合が進むにつれ、白熱した好ゲームが展開された。

最優秀賞に 桜井支部清田さん

J A鹿本青年部が活動・主張発表大会

J A鹿本青年部は九月二十五日組織活動の活性化や拡充を目的にJ A本所で青年部員、関係者ら約二〇〇人が参加して二〇〇七年度J A鹿本青年部組織活動実績・盟友の主張発表大会を行った。

大会では、「組織活動実績発表の部」で一支部、「盟友の主張の部」で九支部、代表者十人が日頃の活動の成果や、農業体験の中から感じた将来の農業に対する考えや思いを、限られた時間の中で発表した。

主張・発展性、発表態度などで厳正に審査された結果、「組織活動実績発表の部」で植木支部(発表者：堀博文さん)、「盟友の主張の部」で桜井支部の清田耕生さんが最優秀賞に選ばれた。



J A鹿本青年部が 空き缶投げ捨て防止を呼びかけ

農村環境美化運動



J A鹿本青年部は十一月十、十一日の二日間、管内の山鹿市カルチャースポーツセンターで空き缶・空きビン投げ捨て防止を呼びかけた。

県農政連が取り組んでいる農村環境美化運動の一環として実施したもので、石貫政和J A青年部山鹿地区部長ら七人が参加した。当日、同センターでは、イベントが行われており、来場者一人一人に呼びかけながらチラシを配り、子供たちには風船を手渡した。空き缶・空きビンの田畑への投げ捨ては、農作業中の事故につながるという事で、投げ捨て防止運動への理解と、シートベルト着用などの安全運転を呼びかけた。

松本 憲二さん
JAたまな



自宅リビングルームにて

●就農して十八年

横島町は、「加藤清正時代からの干拓の町」と「いちごマラソン大会」で有名。

松本さんは、昭和四三年三月に生まれ、鎮西高校を卒業、農業以外の仕事に従事していた。しかし、兄が農業を辞めると言うことで、二二歳で就農。今年で、十八年になります。

現在、両親とともに水稲三・〇ha、トマト五十a、ジャガイモ五十a、オクラ十aを栽培しています。

●青年団の思い出

「青年団活動は、入団した頃は、大変活発であり、一番の思い出は、ブラジルに移民の二世、三世を横島町に招待、小学校で「ユバ劇団」や講演を主催した時が最高でしたと語る。この頃は、周辺町村との交流も盛んであり、その時、由紀代さんと知り合い結婚されたと言うことです。

●丸トマトの栽培

「水稲は、JAへ共販しているが、特産の丸トマトは、仲間と出荷組合を作り、八代方面に出しており、将来は、JAとの関わりも深めていきたい」と話されました。

十一月から四月頃までハウスの温度を高めるために重油を炊くが、原油高で以前の二倍近くになっており、防虫ネットやビニール代など資材の高騰で経営が厳しい。特にシルバーコナジラミが媒介して発生する黄化萎縮病を抑えるために、苦慮しています。

●いちごマラソン大会

走っているランナーに農家の人がいちごを提供。これが評判で、いちごを食べられるマラソン大会と言うことで、多くのランナーが集まるようになりました。横島支部でも、「いちごマラソン大会で、マラソンコースに特産品の「いちご」、「トマト」を並べて試食していただき、消費者への安心・安全をアピールし、消費拡大に努めています。

また、四月には、横島青壮年部の「総会や「学習会」に三浦先生を招き、農政問題について意見を聞かせていただきました。

「現在、国政で活躍されている農業分野出身者がいないので、ぜひ再出馬いただきたい。さらに水稲の収穫後の跡地は、空いたままになっており、この田んぼの再活用ということでジャガイモを試験的に栽培しています。本格稼働をめざして挑戦中と語るなど、農業・農政に強い関心を持っておられ、夢を持てるような農業・農村にしていきたいと抱負を述べられました。

豊岡 薫さん

JA菊池大津支所フレッシュミズ



クラフトバックと一緒に

「私、青壮年部に入会していません。

おそらく女性第一号じゃないですか」と語る豊岡薫さんは、三姉妹の長女として、菊池郡大津町に生まれ育ち、現在実家で両親とともに米五反、からも三町を作る専業農家です。

●後継ぎとして

農業を志して農業大学卒業後、会社勤めを経験し就職。旦那さんとは会社務めの頃に出会い結婚されたそうです。

「旦那さんは婿養子なんです。私は長女なので、後継ぎとして農業をすると決めてたから、それを理解してくれる旦那さんとめぐりあえてよかったですと思います。」

最初から、婿養子に来てくれる人を探していた豊岡さん。農業に全力で取り組めるのも旦那さんの存在が大きいようです。

●フレッシュミズの活動

現在、JA菊池大津支所フレッシュミズは十一名の部員で毎月活動しています。この日も、フレッシュミズの活動で作ったクラフトバック（写真参照）を見せていた

きました。ほかに母の日フラワーアレンジ教室、親子でコースター作り、食育についての勉強会など幅広く活動を行っているそうです。

「私たちフレッシュミズは、三月に活動報告会を実施しています。一年間の活動を振り返ることで、活動内容の充実化にもつながるし、部会の結束も強くなるんです。」
それぞれ家庭の事情で忙しいなか、毎月活動を行っている理由がよくわかります。

●今後の抱負

「県内にある全部のフレッシュミズ部会の集会を開催して、ほかの地区の部会と交流を図りたい。意見交換を自分たちの活動の向上につなげていきたいですね。また、イベントや農業祭等に自分たちの作ったものを展示していきたいですね。」

前向きにいろんなことに取り組む姿勢が活動に反映されている。活動の理想のスタイルを実践している豊岡さんでした。



発表会での一コマ

JA中央会

JAの主人公になろう!

JA熊本県女性協総会

JA熊本県女性組織協議会は五月九日、第五十五回通常総会を合志市のJA教育センターで開きました。代議員や女性部関係者ら約一八〇人が出席。

二〇〇八年度は、「農と暮らしを支える取り組み」や「食と地域を守る取り組み」―「家族の主役、JAの主人公になる取り組み」など「JA熊本県女性組織協議会三か年計画」の着実な実践に取り組むことを決めました。

昨年度の「仲間を増やす運動」で部員を拡大したJAれいほく女性部と、正組合員加入運動で実績を上げた五女性部などを表彰しました。

今年度の農と暮らしを支える取り組みでは、地産地消運動の実践や食農教育の実践、農産加工所や直売所などの企業支援。食と地域を守る取り組みでは、

健康で風土に合った食生活の学習・

実践運動や

地域ボラン

ティア活動

の実践を行



あいきつする三津家会長

る取り組みでは、仲間づくり運動や家族経営協定の締結推進と締結内容の見直しを図ります。

三津家敏子会長は「食の安全・安心や環境問題、地域の問題などいろいろな角度から地域をしつかり守っていく」と協力を呼びかけました。

生活指導員の役割学ぶ

JA生活指導員研修会開催

JA熊本中央会・連合会営農生活センターは五月二十七日、JA生活指導員研修会を経済連七階ホールで開き、各JAから五十八名が参加、生活指導員としての役割明確化、資質向上についてみっちり学びました。

午前の部では同センター生活担当・麻生せい子課長が「JA生活活動の取り組みについて」各生活指導員の声を聞きながら、農業をとりまく環境・JAの生活活動、その活動範囲について説明しました。

次に家の光協会・山畑健太氏が「家の光ハンドブック・JA女性大学マニュアルの活用等について」説明。

午後の部では家の光専門講師・上林さき子氏（元JA東びわこ生活部長）が「JA生活文化活動の重要性と生活指導員の役割」と題して自身の経験を

もとに講演、参加者からは「現場ですぐ生かせる内容であり大変よかった」等の声が聞かれました。

JA経済連

生活事業・組織品目

担当者研修会

JA熊本経済連と中央会連合会営農生活センターは、五月八日同経済連七Fホールで、生活事業・組織品目担当者研修会を開きました。県内JAの生活事業・組織品目担当者ら約九十名が参加しました。

平成二十年度の経済連施設生活部の取り組みについての提案のあと、「薬と健康」と題して、(株)エコー熊本管理薬剤師・稲留明子さんにより講演がありました。

午後からは、平成二十年度共同購入運動の取り組みについての説明のあと、エコーマーク品目について、比較テストを行いながら研修を行いました。参加者からはとても勉強になったなどの声が聞かれました。



研修を受ける生活事業・組織品目担当者

仏独国営テレビ局に

よる茶入札場取材

フランス・

ドイツ共同

国営テレビ

局、世界各

国の文化を

特集してい

るドキュメ

ンタリー番

組で、日本

人の暮らし

に根ざした



茶入札場を取材する仏独共同国営テレビ取材班

緑茶を取り上げ、JA熊本経済連の茶入札場を取材しました。番組は、欧州連合（EU）圏で約一時間放映されており、今回は、日本の緑茶文化にスポットを当て企画。茶の流通ということで、下見の風景から、入札・落札までを取材。二十二日目の入札となる五月十六日は、菊池・阿蘇・球磨地域からの出品で、一〇八点、十九・五トが出品されました。また、この取材班は、五月八日から県内有数の茶の生産地である、球磨郡相良村に滞在しており、茶摘みの風景や製茶業を営む渡邊和夫さんの加工場などを訪れ取材。阿蘇市などにも訪れた。渡邊さんは、「ペットボトルが普及する中、日本人にはもちろん、海外の人にもお茶の良さを知ってもらいたい。」と話していました。

JA貯金「夏得キャンペーン2008」

平成二十年六月二日(月)～八月二十九日(金)

県内JAでは、平成二十年六月二日(月)～八月二十九日(金)までの三ヶ月間、「JA貯金「夏得キャンペーン2008」」を開催いたします。

キャンペーン期間中、定期貯金十万円以上(預入期間一年以上)の新規ご契約の個人の方に対して、定期貯金の店頭金利に年〇・〇五%を特別金利として上乗せします。(注) キャンペーン対象商品は、スーパー定期貯金およびスーパーJA(据置定期貯金)。キャンペーン期間は、八月二十九日(金)まで。ぜひ、この機会をお見逃しなくご利用下さい。

詳しくは、お近くのJA窓口、または、JAバンク熊本ホームページでご確認ください。
(注)中途解約された場合は、JA所定の中途解約利率を適用させていただきますこととなります。



二十年度 JA共済キャンペーンが始まりました。

みんなにサンキューキャンペーン

JA共済では、組合員・利用者の方々一人ひとりのニーズニーズに即したきめ細かな保障提供を目指して、全戸訪問活動「3Q訪問プロジェクト」に取り組んでいます。ご自身やご家族の保障について気になること、ご不明・ご心配なことなど、JA職員がお伺いしアドバイスいたします。安心は会うことから始まりです。どうぞお気軽にお尋ねください。あわせて、日頃の感謝をかたちに…。

でお尋ねください。JA共済ホームページからもご応募できます。また、これまでJA共済のご契約がない方をご紹介いただき、その方がご成約された場合、ご紹介くださったみなさまに、先着一五、〇〇〇名様にJA共済オリジナル仲間由紀恵QUOカードをお贈りします。新しい仲間づくりにどうぞご協力ください。

「みんなにサンキューキャンペーン」を実施しています。アンケートに答えてご応募いただくと、仲間由紀恵セレクションオリジナルケース付き「iPod nano」や「JA共済オリジナルアンパンマン土鍋セット」など抽選で一五六、〇〇〇名様にプレゼント。詳しくは、JA窓口



応募期間 平成20年4月1日～平成21年3月31日

第1期:平成20年6月30日 第2期:平成20年9月30日 第3期:平成20年12月31日 第4期:平成21年3月31日

日頃の感謝を、かたちに。

抽選で各期**39,000**名様(総計156,000名様)に当たる!

A賞 iPod® nano (4GB) **B賞** JA共済オリジナルアンパンマン土鍋セット **C賞** JAタウン厳選産地直送品

仲間由紀恵セレクションオリジナルケース付き **8,000**名様(各期2,000名様) **12,000**名様(各期3,000名様)

さらに**Wチャンス!** A～C賞に当選されなかった方の中から抽選で**132,000**名様(各期33,000名様)にJA共済オリジナル アンパンマン 取柄型フリースランケットをプレゼント!

4,000名様(各期1,000名様)

簡単なアンケートにごたえて、豪華な賞品をゲットしよう。ホームページからもご応募できます。キャンペーンホームページ <http://www.3qja.jp>

JA共済では、創立以来、みなさまに「お会いすること」を最も大切にしています。08481050205

あじがわ

● 梅雨の季節。梅雨のじめじめ気分を「クチナシの甘い香り」で吹き飛ばしましょう。
でも、生活や農業には、六月の雨は大
事なものです。



● 6月に咲く花「梔子」
クチナシの名は、クチナシの実が、熟しても口を開けないことに由来する。
くちなしは、庭木として好まれてきた。
梅雨の雨に群れて、純白に香り高く咲き、冬には、緋赤の実をつける。
無毒なので、たくあんの色料など染料や薬用にする。
(花こぼ)とても幸せです。
アカネ科/常緑、低木/日本、中国等

● 盟友の皆様のご意見や 周辺地域の話題、写真等、各地区の総支部・支部（JA本支所）へお寄せいただければ幸いです。に存じます。

連絡先 熊本県農政連
電 話 096-328-11284
FAX 096-326-15807

JAバンク熊本
自慢の愛車で週末ドライブ。JAのローンで買い替えました。

JAマイカーローン
お車の購入、買い替え、車検の費用などにもご利用いただけます。

家の光協会の雑誌

夢の実現! 暮らしいきいき
家の光
食と農の総合誌
地上
GOOD FARM

食農教育をすすめる子ども雑誌
ちやぐりん
家庭菜園のパートナー
やさい畑
はじめての花づくりに
花ぐらし

お申込はJAへ
発行: JAグループ(社)家の光協会
JA熊本中央会

JA共済

「あんしん」は「げんき」のもと。
女性とお子さまのための
医療保障。

『せるふけあ はなこ』『せるふけあ わんぱくマン』は女性とお子さまに心強い保障。入院・手術や万一の保障だけでなく、骨折、ヤケド、脱臼、顔のケガなどもしっかりカバー。加入手続きは簡単です。

特定損傷特約付定期医療共済 特定損傷特約付定期医療共済
せるふけあ はなこ **せるふけあ わんぱくマン**

●詳しくはお近くのJA(農協)へお問い合わせください。ホームページアドレス <http://www.ja-kyosai.or.jp> 08481050124

期間/平成20年6月1日(日)~9月30日(火)まで
JAグループ熊本 ご成約期間/平成20年10月31日(金)まで

新築住宅得々安心キャンペーン

得々 Wの特典でトクトク! この機会にマイホームを!

特典
その1 **敷地調査・プランニングをプレゼント!!**

特典
その2 **ご成約感謝選べるプレゼント!!**

期間中、ご契約いただくと
カーテン・照明・エコキュートの中からもれなく60万円相当のプレゼント!

家を建てるなら、今がチャンス!

- 金利の変動 ▶ 上がれば月々の返済が変わります。
- 所得税控除 ▶ 廃止になれば損をします。
- 資材の高騰 ▶ 価格が変動する可能性があります。

悩むより、まずはJAグループにご相談ください。

施主代行システム
JAで、安心と信頼の家づくり。
お施主様とJAグループが委任契約を結び、それに基づきJAグループがハウスメーカーと請負契約を結ぶことで、諸手続きの代行、施工管理をお施主様の立場で行うことができる独自のシステムです。

各工程において工事内容をチェック

協賛メーカー3社
SEKISUI HOUSE | ダイワハウス | PanaHome

あなたと夢を、ごいっしょに。
ご相談・お問い合わせは
最寄りのJAへ
JA熊本経済連
施設住宅課 ☎096-328-1173